

令和6年度 福島イノベ倶楽部 研修会

産業振興課の事業紹介

2025/2/12

目 次

- 1 地域復興実用化等開発等促進事業
- 2 Fukushima Tech Create事業
- 3 スタートアップ創出事業
- 4 廃炉関連産業集積基盤構築事業

目 次

- 1 地域復興実用化等開発等促進事業
- 2 Fukushima Tech Create事業
- 3 スタートアップ創出事業
- 4 廃炉関連産業集積基盤構築事業

福島イノベーション・コースト構想推進施設整備等補助金 （地域復興実用化開発等促進事業）【復興】 令和7年度概算要求額 45億円（45億円）

福島復興推進グループ
福島新産業・雇用創出推進室

事業目的・概要

事業目的

福島イノベーション・コースト構想の実現に向け、福島県浜通り地域等において、ロボット技術をはじめエネルギーや農業など多岐にわたる先端分野の地域復興に資する実用化開発を促進し、これら先端分野の課題の解決に向けて開発された技術や人材により、福島県浜通り地域の産業復興を支える新技術・新産業の創出を目的とする。

事業概要

福島県浜通り地域等において、国内外の研究者、技術者、企業等の英知を結集するためにも、共同で研究を行い、イノベーションを創出する環境を整備していくことが必要。

また、廃炉や被災地域の復興を円滑に進めていくためには、福島県浜通り地域等の産業復興を支える新技術や新産業創出の原動力となるロボット技術やエネルギー、農業分野など多岐にわたる先進分野の課題の解決に向けた技術開発等が求められている。

そのため、福島イノベーション・コースト構想の重点6分野(*1)について、福島県浜通り地域等において地元企業又は地元企業と連携する企業が実施する実用化開発等の費用を支援する。また、「自治体連携推進枠」により、自治体(*2)と連携して実施する事業を重点支援する。

*1 廃炉、ロボット・ドローン、エネルギー・環境・リサイクル、農林水産業、医療関連、航空宇宙

*2 福島イノベーション・コースト構想に位置付けられた浜通り地域等の15市町村に限る

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）

(1) 一般枠



(2) 自治体連携推進枠



成果目標

短期的には福島県浜通り地域等の企業による実用化開発事業の累計事業化件数200件を目指す。

長期的には補助金を活用した事業の福島県内での事業活動による累計売上高3,900億円を目指す。

【参考】

採択実績、過去事例集、R7新規エントリー頁のご紹介

【令和6年度採択者】 44件

【令和5年度までの実績】 実用化149件
事業化119件

▼ 過去の事例集へのアクセス



令和4(2022)年度版
「地域復興実用化開発等促進事業」の事例集

▼ エントリー頁へのアクセス



県産業振興課ホームページ

2月6日から、令和7年度新規分の募集を開始いたしました。

目 次

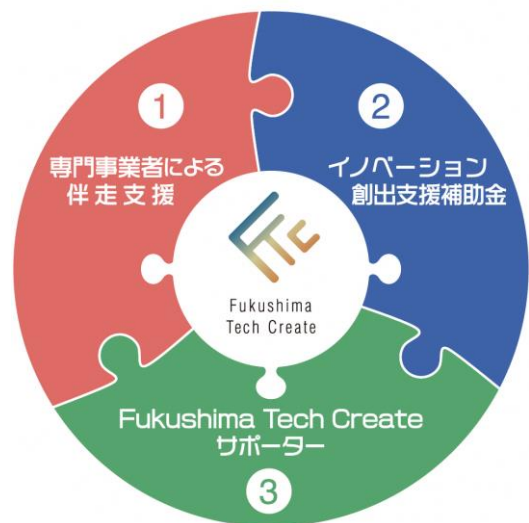
- 1 地域復興実用化等開発等促進事業
- 2 Fukushima Tech Create事業
- 3 スタートアップ創出事業
- 4 廃炉関連産業集積基盤構築事業

浜通りで新しい発想によりビジネスを立ち上げよう とするスタートアップ・個人の発掘と支援

Fukushima Tech Create (略称：FTC)

(福島イノベーション創出プラットフォーム事業)

イノベ地域での起業・創業を支援する
「3つのエンジン」



3つの方向から起業・創業をサポートします

I. 専門事業者による伴走支援

- 豊富な支援実績を有する専門コンサルタントによる起業・創業ステージに応じたアイデアの具現化や事業計画のブラッシュアップなど、ハンズオン型支援を無料で受けられます。

II. イノベーション創出支援補助金

(補助上限額最大1,000万円、補助率最大4/5)

- 審査により、試作品開発や市場調査、実証などの費用を補助します。
- 各プログラムにより、補助金の上限額が異なります。

III. 「FTCサポーター」によるバックアップ支援

- 福島県内外の行政機関、金融機関、大学、研究機関などがサポーターとなり、実証場所の紹介やアドバイス、情報の提供等を行います。

応募倍率の推移

募集年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
応募倍率 (応募数/募集数)	1.8倍 (92件/50件)	2.4倍 (79件/33件)	3.2倍 (107件/34件)	2.5倍 (84件/34件)	2.9倍 (100件/34件)

●令和5年度 Fukushima Tech Create (FTC) 支援プログラム

I) 福島イノベ構想の重点6分野関連スタートアップ支援

ビジネスアイデア事業化プログラム (支援年数: 最大1年、補助上限額: 300万円)

- ・福島イノベ構想の重点6分野での起業や新事業展開等の新たなチャレンジを志向する者向けの支援プログラム
- ・個人での応募も可能

アクセラレーションプログラム (支援年数: 最大2年、補助上限額: 500万円)

※翌年度の募集時に進捗・成果を踏まえた審査あり。2年目に採択された場合は当該年度の補助上限額1,000万円。

- ・福島イノベ構想の重点6分野での事業化を志向するアリーステージ等にある者向けの支援プログラム

II) 研究機関や大学等での研究成果の社会実装スタートアップ支援

先導技術事業化アクセラレーションプログラム

(支援年数: 各フェーズ最大1年、補助上限額: 各フェーズ1,000万円)

- ・研究機関や大学等での研究成果等を社会実装しようとする者で、研究者が自ら創り、又はビジネスパートナーに橋渡しにより社会実装しようとする者向けの支援プログラム

- ① 起業フェーズ → 起業・創業の準備もしくは直後にある企業、個人
- ② 事業化フェーズ → 事業化に向けた試作品開発・実証等を行う企業
- ③ 量産化フェーズ → 量産化に向けた開発製造施設等の立地を目指す企業

【地域要件】

「アクセラレーションプログラム」及び「先導技術事業化アクセラレーションプログラム」については、翌年1月末までにイノベ地域における事業拠点の設置が要件となります。

Fukushima Tech Create2025成果発表会

令和7年 1/23 [Thu] ▶ 24 [Fri]
12:30-17:00 10:00-15:00

参加無料・要申込み
オンライン同時配信

マイナスからの**挑戦**、だから**その本気**



福島イノベーション創出プラットフォーム事業
Fukushima Tech Create 2025
成果発表会

開催場所 南相馬市民文化会館 ゆめはっと 会場定員 150名 参加者募集中

〒965-0801 福島県南相馬市原町区本町2丁目2B-1

※ 定員に達し次第締め切ります ※ 定員の割合でもオンライン参加可能

プログラム

スタートアップピッチ	1/23 [Thu] 12:30-15:45	1/24 [Fri] 10:00-13:40
ブース交流会	1/23 [Thu] 15:45-17:00	1/24 [Fri] 13:40-15:00

ご準備いただく場合は、オンライン同時配信の場合、参加お申し込みが必要ですが、参加お申し込みは、ネット受付のみとなります。

お問い合わせ
成果発表会 受付事務局 TEL 024-531-4153
Mail ftc@fukushima-citpge.no.jp
(事務局: 南相馬市社会福祉課)

「参加のお申し込み」「最新の成果発表会情報は公式サイト」
<https://ftc.fukushima.jp>



主催/ 福島県、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
共催/ 復興庁

1/23 (木)、1/24 (金)
@南相馬市民文化会館 (ゆめはっと)

2日間で延べ300名以上が参加し、プログラム参加者と連携に向けた意見交換(交流)を実施。



▲プログラム参加者のピッチ



▲ブース交流会



▲ベンチャーキャピタルへの相談

全国から F T Cに参加・支援した代表的なスタートアップ

福島イノベ機構はこれまでに185件（※）のチャレンジを支援
多くの企業がアイデアを具現化しています

（※）2020年度から2024年度に「Fukushima Tech Create」に採択された件数

（株）AIBOD

- 無人決済システムを開発し、実証ストアを展開中
- 大熊インキュベーションセンターに入居



AstroX（株）

- 超小型ロケットを開発中
- 福島ロボットテストフィールド等で実証実験を実施
- 南相馬市産業創造センターに入居



OKUMA DRONE（株）

- FTCをきっかけに福島進出
- 水素燃料ドローンを開発中
- 大熊インキュベーションセンターに入居



（株）WorldLink & Company

- ドローンの総合管理用システムを開発
- 双葉町にサービスセンターを開設



ビジネスアイデアコンテスト「イノベのたまご2024」

- 技術シーズをもった「**起業アイデアを有する若年層**」と「**女性起業家**」に絞り、ビジネスアイデアコンテストを開催。「東日本大震災・原子力災害伝承館」にて**8名のファイナリスト**による**プレゼンテーション**を実施。
- 参加者の起業に向けた挑戦意欲が「イノベ地域」での将来的な事業展開に繋がることを期待。

【募集部門】

・起業アイデアを有する若年層 ビジネスアイデア部門

(東日本大震災(2011年3月11日)時点で20歳以下であった者で全国の高等専門学校・専門学校・大学の学生、研究者、シード期の起業家等)

・女性起業家 ビジネスアイデア部門 (年齢不問)

【募集結果及び一次審査会(書類審査)】: 2024年8月20日(火)実施

【最終審査会】(8名のファイナリストによるプレゼンコンテスト): 2024年9月15日(日)

・開催場所: 東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉町)

【最終審査結果】

・起業アイデアを有する若年層 ビジネスアイデア部門 最優秀賞

佐々木康生さん(福島大学農学群食農学類)

テーマ:「福島県産オリゴ糖が未来を創る」

・女性起業家 ビジネスアイデア部門 最優秀賞

伊藤 里美さん(東北大学大学院医学系研究科)

テーマ:「がん患者向けアロマセラピープラットフォーム」

最優秀賞を受賞した2名については、あわせて海外派遣賞として、

2025年1月14日～15日に**シンガポールへの教育研修を実施。**



ファイナリストと審査委員の方々



目 次

- 1 地域復興実用化等開発等促進事業
- 2 Fukushima Tech Create事業
- 3 スタートアップ創出事業
- 4 廃炉関連産業集積基盤構築事業

「スタートアップツアー」を分野別に年間3回開催

●優れた技術シーズを有するスタートアップや研究者および**VC等**にイノベ地域の魅力を伝えるため、1泊2日で浜通りで先行するスタートアップ企業、POCを支援する地元企業・団体、スタートアップの日常生活や余暇を彩る施設等、分野と地域を分けて巡るツアーを企画。参加費：無料※集合場所までの往復交通費と懇親会代は参加者負担

◆第1回 2024年7月26-27日

対象分野：ロボット・ドローン、農林水産業

訪問先 福島ロボットテストフィールド、福島高度集成材製造センター（FLAM）、（株）菊池製作所
Odaka Pioneer Village、（株）haccoba、（株）ライスレジン、請戸漁港、請戸小学校
かもめミライ水産（株）、ナミエシカ、F-REI、（株）Refruits

◆第2回 2024年9月27-28日

対象分野：エネルギー・環境・リサイクル、廃炉

訪問先 FH2R（福島水素エネルギー研究フィールド）、JAEA・楡葉遠隔技術開発センター（NARREC）、
JAEA・廃炉環境国際共同研究センター（CLADS）、ならはCANvas、スターリングパートナーズ（同）
福島いわきバイオマス発電所、中間貯蔵施設、東京電力廃炉資料館

◆第3回 2024年12月18-19日

対象分野：航空宇宙、医療関連

訪問先 大熊インキュベーションセンター（OIC）、テトラ・アビエーション（株）、AstroX（株）、
（株）スペースエンターテインメントラボラトリー、図図倉庫、（株）株式会社シーマン人工知能研究所
テラス石森、ふくしま医療機器開発支援センター

●各回定員 15名程度（ホームページで募集）

●対象者：**重点6分野に関連するスタートアップ事業者（起業を志す個人や学生の方を含む）及びVCや支援団体等**

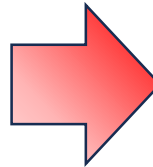


「福島県・福島イノベ機構」のスタートアップ支援

「スタートアップツアー」



「FTCプログラム」



「地域復興実用化開発等促進事業」

●「福島イノベーション・コースト構想重点分野等事業化促進事業」

※地域復興実用化開発等促進事業に採択された174社（191テーマ：2023年3月時点）に訪問等を行い、必要な支援を実施。



- 福島イノベ機構のネットワークを活用した公的団体や地元企業との関係構築をはじめ、採用活動やプレスリリース、展示会出展等の全般的な支援
- コンサルティングファームを活用したマーケティングやプロモーション、体制構築等に係る支援
- 特許事務所を活用した知財戦略支援

事業化の支援

「ビジネスアイデアコンテスト『イノベのたまご』」

未来を創る！ビジネスアイデアコンテスト
イノベのたまご 2024

Powered by Fukushima Tech Create



「企業立地への全国トップクラスの支援」

目 次

- 1 地域復興実用化等開発等促進事業
- 2 Fukushima Tech Create事業
- 3 スタートアップ創出事業
- 4 廃炉関連産業集積基盤構築事業

廃炉関連産業集積基盤構築事業(1F、2Fの現状)

<福島第一原子力発電所>



◆ 廃炉作業は30～40年かけて主に5つの作業が進められている。

- ・燃料取り出し
- ・燃料デブリ取り出し
- ・汚染水対策
- ・ALPS処理水の処分
- ・廃棄物の処理・処分／、原子炉施設の解体等

総費用約8兆円



<福島第二原子力発電所>



2019年7月31日 全号機の廃止を決定
2021年4月28日 廃止措置計画認可(原子力規制委員会)
2021年6月下旬～廃炉作業開始

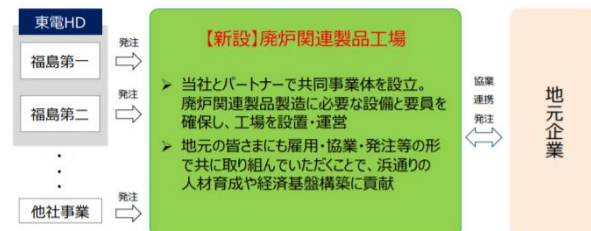
◆ 廃炉作業は、44年が見込まれている (2064年度終了予定)

復興と廃炉の両立に向けた福島の皆様へのお約束を公表(2020.3.27)



「復興と廃炉の両立に向けた福島の皆様へのお約束」実現に向けた取組み状況を公表(2021.5.27)

2020年代中盤に、廃炉関連施設製品工場など5施設の新設を提示。



廃炉関連産業集積基盤構築事業(廃炉関連産業マッチングサポート事務局)

総費用が8兆円とされ、今後数十年続くと見込まれる東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業において、受発注のミスマッチの解決を図り、地元企業の新規参入(受注拡大)を促進する。

主な取組

【令和6年度】(イノベ機構への委託事業)

(1) マッチングサポート事務局の運営

専門コーディネータを配置し、相談窓口業務や個別コンサルティング、会社訪問、イベントの企画運営などを行う。

(2) 廃炉スタディツアーの実施

廃炉への理解促進のため、東京電力福島第一原子力発電所の現地見学会を実施する。

(3) 元請企業及び地元企業のネットワーク形成

東京電力や元請企業、地元企業等との交流会を開催し、異分野間の情報交換を促進し、異業種連携やイノベーション創出を図る。

(4) 参入を目指す地元企業の競争力強化

地元企業の持つ技術の整理や生産性向上などにより、提案力の強化や経営基盤の向上を図る。

(5) 参入を目指す地元企業への資格取得の支援

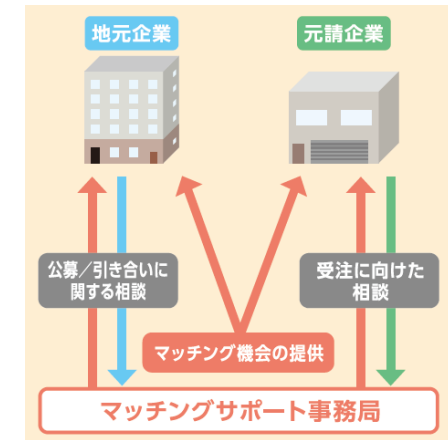
廃炉関連産業に必要な資格取得に係る費用の補助を行う。
※放射線取扱主任者、非破壊検査技術者、溶接技術者等

(6) 廃炉ビジネス展示商談会

地元企業自らが得意とする技術やサービスのPRや実機を用いたデモ等を行う展示商談会を開催し、地元企業の新規参入や受注拡大、ネットワーク形成等を促進

事務局:イノベ機構

Tel:024-581-7046



お問い合わせください!
(事務局にご登録ください!)

企業登録件数 207社(R7.1)

成約件数 1375件(R7.1)

ご清聴ありがとうございました。